

各 位

2011年6月9日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 土谷 美津子
(コード番号 4343)
経理本部長 新田 悟
(電話 043-212-6203)

2012年2月期 5月度の営業概況

1. 業績の進捗

5月度(2011年4月21日～2011年5月20日)の営業収益は、35億49百万円と前期比106.5%(曜日調整後106.1%)となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

<全社>

(単位:%)

	5月度		当期累計(3月度～5月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	107.6	107.8	95.8	96.2
商品売上	102.6	103.1	89.5	90.1
遊戯施設売上計	106.6	106.8	94.4	94.9
売上高合計	106.5	106.8	94.4	94.9

※前期比伸び率の計算において、前年売上高には現在、震災の影響で休業している店舗の売上高も含まれております。

<地域事業本部別>

	5月度		
	全店	既存店	(休業店舗数)
北日本事業本部	102.5	101.8	9店
東日本事業本部	112.0	110.1	-
近畿・中部事業本部	108.8	109.1	-
西日本事業本部	109.1	105.6	-

営業店舗数	
2010年5月	333店
2011年5月	314店

※2011年2月期
新店5店、閉店21店

3. 営業の概況

5月度の売上高は、春の遊戯機械の入替え効果やお客さまのインドア志向の拡大等、月間を通じて好調に推移しました。特にゴールデンウィーク期間中(4/29～5/5)の遊戯機械売上高が前期比111.3%と計画を上回り推移いたしました。

地域別では、月首で13店舗休業中の北日本事業本部が前期比102.5%となりました。これは、震災の影響による休業から再開した店舗の売上が大幅に伸び、休業店舗の減収をカバーしたことになります。

5月度の休業店舗数は、4月21日時点で13店舗でしたが、その後順次営業再開を進め、5月20日時点で休業店舗数は9店舗となりました。尚、6月9日現在の休業店舗数は7店舗となります。

4. 出退店の状況

今期に入り(2/21～5/20)新規出店は3店舗となります。(甲府昭和店、伊丹昆陽店、大牟田店)

以上